

人間関係講座（グループ）第79回 [春]

グループの中での人間関係の理解のために：基礎コース

担当者	津村 俊充（南山大学人文学部心理人間学科名誉教授） 中尾 陽子（南山大学経営学部准教授）
概要	この講座は、「体験学習」という方法を用いて、グループの人間関係について学んでいくものです。ラボラトリー方式の体験学習の入門講座として設定しています。1つの講座は2日間のプログラムで構成しています。 私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、常にグループの中に身を置いています。「グループの中の人間関係は複雑で難しい」ということをよく聞きます。その理由の1つとして、グループで何らかの仕事や課題に取り組む場合に、話や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、他者の気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられず、いつの間にかお互いの思いにズレが生じることが考えられます。 この講座は、以下の学習目標に向けて実施します。 ①グループの中で他者と関わる自分の特徴に気づく ②「コンテンツ」と「プロセス」とは何かを理解する ③グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向ける重要性に気づく この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習（典型的な実習）と、グループに関する理論の小講義によって学習を深めていきます。グループの人間関係について理解を深めたい方、ラボラトリー方式の体験学習について知りたい方など、さまざまな方にお勧めです。 なお、この講座（または過去の人間関係講座＜グループ＞）を修了された方を対象に、グループの人間関係をさらに深く学ぶための「グループプロセス応用講座」が開催されます。
日程	2010年 6月12日（土）10：00～18：00 6月13日（日）9：00～17：00 土日集中
定員	36名
会場	南山大学 D棟
受講料	11,200円（税込）
メルマガ講座報告	担当講師 中尾 陽子 記 6月12・13日、南山大学D51教室において第79回人間関係講座（グループ）が開催されました。2日間のプログラムでは、小講義を通じてラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方を理解したり、小グループに分かれて実習に取り組みながら、個人やグループに対する気づきを深めていきました。 受講生の皆さんの取り組みを一言で表現すると、それはもう本当に真剣そのもの。とは言え、お互いの成長を支え合うそのお姿はとても暖かく楽しげで、D51教室が皆さんのエネルギーで段々と明るさを増していくような、そんな感覚を味わっていました。 受講生の皆さん、その後いかがお過ごしですか？ 職場や家庭といった日常の場面へ戻ってしまうと、忙しさも手伝い、ついついコンテンツに気持ちを向けてしまいがちですね。私もそういう面が多々ありますが、そこで起こっているプロセスにも目を向けながら、仕事仲間や家族との関係をつくっていくよう、お互い頑張っていきましょう！